

## クリンソウの生息に必要な土壌の性質

大田光・小松煌(兵庫県立千種高等学校 自然科学同好会)

### はじめに

クリンソウ(学名:*Primula japonica*)は兵庫県の絶滅危惧種に指定されている植物であり、私たちが住んでいる宍粟市の千種町では数年前にクリンソウが生息している場所が発見された。生息区域近隣の住民がクリンソウの保護団体を立ち上げるなど保護活動に取り組んでおり、図1に示したように近年は生息個体数がやや増加している。しかし、その生態についての調査は行われておらず、保護活動が科学的な知見に基づいて行われているとはいえない。そこで、クリンソウが生息している要因を明らかにし、効果的な保護を行うために、土壌の性質調査を行った。生息している土壌としていない土壌の違いを見つけることで今後の保護活動に活用していきたいと考えた。

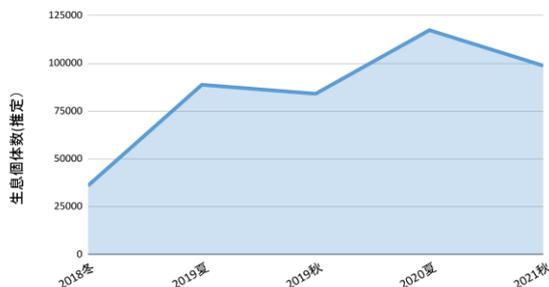


図1 千種町に生息するクリンソウの推定個体数



写真1 調査の様子

### 調査方法

土の採取方法は写真1のように調査地点にポールを50cm分土壌に入れ、ボーリングの要領で採取した。そして土を取り出し「腐葉土」「礫」「砂」「シルト」「粘土」のどれにあたるのかを判断しそれぞれの長さを測った。

### 結果・考察

結果は図2のようになった。名称に関しては、クリンソウが生息している場所は保護団体が場所別に七福神の名称をつけているのでそのまま使用し、生息していない場所については付近の名称を使用

した。また、ポールを取り出した時の土の長さが異なるのは、土壌にポールを入れて抜く工程で土が圧縮され、採取できた土の長さが増えているためである。

クリンソウが生息している場所にはシルト・腐葉土が多いが「毘沙門天」と「大黒天」に関しては腐葉土が見られなかった。生息していない場所はシルトが少なく砂が多かった。このことから、クリンソウが生息しているのは砂や礫が

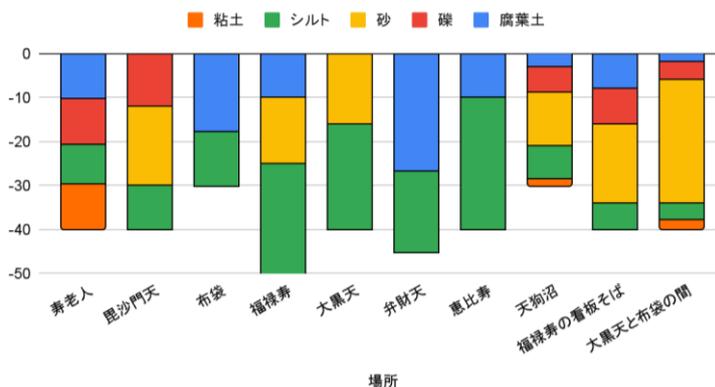


図2 地点別土壌調査結果

多く水はけが良い場所ではなく、シルトが多く粘り気のある土壌や水はけの良くない常に湿っている場所に生息していると考えられる。また、比較的腐葉土が多い場所の方が土に栄養があり育ちやすい可能性が考えられる。

### 今後の方針

今回はクリンソウが生息していない場所の土壌調査を三カ所しか行うことができなかったため、次回の調査では地点を増やしたいと考えている。そして、クリンソウの生息と腐葉土の関係性についても調べる。また、生息しやすい土壌、しにくい土壌を調査し、クリンソウの保護団体の方と協力して栽培実験を行い、クリンソウの生息環境の維持にも努めていきたいと考えている。

### 参考文献

鷲谷いづみ(2006).「サクラソウの目 第2版」. 地人書館